

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は従記にする。

質問番号 003	地図番号 235	○ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (/)
項目名 くものいと			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0737.94	kumo no ito, ito hata 〈両者共に言う〉	
1738.19	*kumo no ito	kumo no ami
		kumo no ami
1747.55	kumo no sue 〈林などをぬける時の類はかかると一本でも。スと言う。〉	kumo no ito
1756.32	クモノイト, クモノス (イトとスとを区別はしないことがある。)	
1770.18	クモノイト 多	クモノイト
2703.18	kumo no sue (クモの葉の土をいう。)	
2764.28	N.R. 〈持に言う土無し。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (2)
項目名 くものい			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2803.22	クモノイト, (イは、エ寄り, トはド寄り。)	
3619.08	kuu bono ëto, ëは非常に狭いe.	
3725.12	クボノエド, このエトは余り用いなし。	
3725.72	クボノエド 〈あまり言わない。〉	
3726.25	クボノエド あまり言わない。	
3734.42	クモノエド, 余り「エド」のみを指して言うことは無い由。	
3737.32	クモノエ, クモノエカキ(「糸」とは言わない。)	
3744.18	クボノエド, 再質問でクボノエドと答えた。エド。	
3744.33	クボノイト(再)	クボノエド?

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 クモノエト		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(3)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3745.98.	〈クモノエト〉(強いて言えは、クモノエトであるが、持には言わないうである。)	
3752.53.	NR 持に言ふ方なし。強いて言えは、004と同じく、ku ^h -bonoe-gak ^s i, である。	
3754.37.	クボノエト、「糸」のみを指して言うとは稀の由。	
3756.26	クボノエト〈(持に言うとはないが)とりたてて言えは。〉	
3757.59	クモノエト〈稀〉	
3776.51	クモノエト。余り言わないう。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 003 003	地図番号 235.	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (4)
項目名 くまいと。			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3781.49	kūbo no ido, 方言款的。	
3796.48	NR. 糸だけを持に言わぬ。	
4609.54	kūbo no ſi 〈—idoは余り使わぬ。〉	
4619.29	kūbo no sū (004と区別なし。)	
4638.22	kūbonojanē, ēは非常に狭い。	
4643.47	kūbo no ito 〈持に言うとはさか。強いて 言えは。〉	
4644.10	kūbo no su, 〈一本でも言う〉と頑張り。	
4653.84	kūbono ito, ぐらゝは。さくめすか。	
4658.42	edo, (004が kūbo no ami ながら, 003)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くもゑと。		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	kumo no edo と言いつであらう。)	
4663.9Z	kumo no jazi <又の時も、このように言う。>	
4669.55	kumo no jadzi (これはクモスにもイト も混同して用いる。)	kumo no cdo
4676.4Z	#? クモスノイト。	
4676.60	jadzi <古> <昔は土かんに使った。>	eto
4684.77	*.? kumo no jadzi (はじめ kumo no eto といふあとで訂正した。)	
4686.5Z	kum ^b o no eto, <強いて言えは、こゝた> と言、た。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くもいと		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(6)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4704.45.	クモ)エス"〈右〉	クモ)ス
4704.96.	クモ)エス"〈右〉	クモ)ス
4705.53.	NR. 一本の糸はけは言わない。	
4711.49.	クモ)エト°, トは非鼻溜。	
4712.16.	kuumo no edzu, 〈一本at場合でも、単at場 合でも同じに言う。〉	
4721.36.	kuumo no sui 〈単はア-ワ(ま(糸もクモ) スと言う。〉	
4725.92	kuumo no eto 〈?〉	
4731.15.	ido. トの子音は全く有聲化している。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くものいど		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(7)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4731.42	kuumo no sui, (「クモイ」 と読み交わすこと ある。004と共に「クモイ」 という。)	
4741.44	エト, [エト]と言いは「井戸」の事になる。	
4743.44	kuumo no edzum (一本でもこう言う。従って 004と区別(な)。)	
4744.32	kuumo ne zum (一本のちでもこう言はし。)	
4750.32	クモイヤズ, ズは非鼻濁音	
4750.76	kuumo no jadzum (これはクモイであるか、 糸も含めという場合がある。)	kuumo no edo
4760.98	kuumo no eto, etは狭e.	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くもい		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(8)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4762.04	クモイス, 〈「クモイス」は「クモイス」の2と区 意味するのであるが、当地方は「イ」と「久」の 区別なく呼んでいる。〉	クモイト
4762.77	edzu (〈edzu kakoda〉といふ。コブテキ マ <u>ス</u> で使う。)	Ku mo no edzu.
4763.45	Ku mo no ito. (単になつていない一本一本の をあらわすとはは普通はないうである。)	
4772.48	* Ku mo no jedzu	Ku mo no edzu.
4784.41	Ku mo no edo, Ku mo no edzu, 〈両方言え〉	
5462.29	エキ, 五箇村には鼻音がある。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕〔 〕は縦断にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くもい		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(9)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5471.59	ヤマノバノエギ, エガキ, 〈糸と単E.同い〉 〈呼ぶ。〉	
5546.56	NR. 〈知るま。〉	
5564.76	kuu ^m bo no su, (ito を使うす。)	
5585.63	kubo no ito, まならす。	
5588.78	クモノエ 〈普〉	クモノエ。
5595.20	kubo no ito, まならす。	
5595.89	〈共〉クボノエ。	クボノエ。
5603.88	kuumo no ito, 〈+まなすの字の時 は jazi まなすと言ふとあり。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (10)
項目名 くもい。			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5606.83	kumo no sui 〈稀〉	
5609.26	ë ^d zu, ëは非常に狭い。	
5611.74	クモヤジ, 納屋 蝸牛. 文くひの虫すまふと もヤジと言う。	
5612.22	kumo no ito (被調査者の息子(20才) は, jadzi ito と答えた。被調査者は これを用い知らしい。)	
5613.48	[] ^{??} jadzi 〈稀〉, 〈余り使わぬ。〉	kumo no eto
5615.28	jadzi 〈納豆の糸も jadzi と言う。〉	kumo no jadzi
5615.74	? jadzi ⇔	ito

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003.	地図番号 235.	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (//)
項目名 くものいど			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5617.85.	kubo no jodze, 〈jodze は、 ^標 標の出標に使用。〉	
5622.48.	ito (昔から用い、今もよく用いる.) jadzi (使うと少ない.)	
5623.27	[*] kumo no jazi	kumo nosue.
5624.85.	kumo no jazi 〈古〉	kumo no ito
5631.16.	kumo no ito, kumo no jadzi 〈両者とも 使う。〉	
5632.28	kumo no jadzi. 〈jadzi hattai は一本糸 がかかっている場合でも、そう言う。〉	kumo no eto.
5653.08	kumo no ito , kumodzu. 〈巢場合も字 場合も共に。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は密記にする。

質問番号 003	地図番号 235	<input checked="" type="radio"/> 普通注記 <input type="radio"/> (B 除いた共通語) <input type="radio"/> (C 除いた特殊語)	ページ
項目名 くもいと			(12)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5669.19	(kü mo no s(ü)), kü mo no to とは言わ ない。強いて言えば、一本でも, kü mo no s(ü)	
5677.28	クモリス, (昔, 子供が頃, クモイトに遊んだ時, 必ず: <u>クモリス</u> トリ = イコウ と行った時の答, 被調査者のかん違いとも思われるが。)	
5677.85	クモイト, 〈クモが下か, ている, とは言いか? イトというこはは余り用いなし。〉	
5686.31	kumonoaja (俳句のこは?) *) (*) kumono ito,	
5686.67	*クモイアジ〈普通〉〈クモイトとは言わぬ。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (13)
項目名 くまの			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5687.32	クモノアジ (クモノイトは使わないと答)	
5689.43	#? kumonoito	
5696.13	クモノスノアジ。〈このクモノスノアジで虫捕り したことがある。〉	
5697.86	azi < [azi o sinita] = < 虫を捉える、 のり紙用紙。〉	
5698.91	zito.	
5701.25	kumbo no eto < 古 >	kumbo no eto
5703.70	kumonoeto < 新 >	kumonoeto
5712.70.	kumono sui , [kumonoito]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くものい。		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(14)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5741.66	NR. (特に名をい.)	
5742.65	特に名はさう。	
5760.24	kuumo no èto. このたは、dにほとくと同じ	
5772.84	kuumo no èto. 〈格別なともいわざうが、強 いて言えは、こうである。〉	
5780.11	kümo no s(cü) ?	
5781.65	kuumonosui. 〈糸とは言わさう。〉	
5791.68	*kuumono do	kuumonosui
5792.02	kuumono èto, èは狭い。	
5792.62	kuemonosui 〈004と区別しなうが普通〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦密にする。

資料番号 003 004	地図番号 235	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (15)
項目名 くものい			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5793.20.	kumonoëto, ëはこく狭い。	
6356.98.	クモノエバ 〈巣と区別せぬ。〉	
6359.38.	クモノエバ。右。	クモノイト。
6369.32.	クモノイ, 〈クモガイオハツル。〉のよみ用。	
6396.08.	?kumo noi	
6403.60.	クモノシ。〈糸と巣と区別せぬ。〉	
6413.10	ito (エギとは言わぬ。)	
6416.09	クモイス, #.クモノイギ (オ一回はクモイスと答え、 他に方言はないかと言て、クモノイギが出た。)	
6417.14	kumo no igi 〈多.右〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003 004	地図番号 235.	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
項目名 くものいと			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6418.75	イギ ^マ , クモイト, 〈昔から両型あり. 平等〉	
6424.20	kuumo no igi 〈99〉	
6426.04	kuumo igi, (糸を出すとをネバイキ"フダス というそうである。)	
6436.60	クモイキ 〈普〉	イキ"
6447.84	? クホノス	
6455.62	エギ, クモエギ, (両者. 区別なし。)	
6479.26	スウ, クモカスウオカケテのように用いる。	
6482.26	クモノエバ, 〈エバア フキヨル (巣をはる状 態をいう。) のように用いる。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003 004	地図番号 235.	(A) 普通注記 〔B〕 除いた共通語 〔C〕 除いた特殊語	ページ (17)
項目名 くものいと			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6485.46	クモサンノイト, 〈この時は、サンをつける。〉	
6486.50	*クモイト, この方が多く使われると訂正した。	クモイト.
6487.43	キヌイト. (「キヌイト ダ'ツ ショル」のように言う。クモイトとは言わない。たゞ、キヌイトである。すべてそういうという筈であった。)	
6487.66	クモノキヌ, 〈クモガキヌ マツキョル。〉	
6491.49	kumo no he, hembari, (海岸部の大浜部落には embari もある。). 〈"kumo no he ga atie to:rep" のように言う。〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()は厳密にする。

質問番号 003 204	地図番号 235.	① 普通注記	ページ
項目名 くもいと		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(18)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6492.11	kuumo no hebaru <稀>	kuumo no habā
6500.22	クモノイ ^キ , キは [gi] が普通。[ri] は非常に少い。これは、この語形の場合に限らず、語中尾カ行濁音の一般的性格である。	
6510.65	クモノキ { [gi] } <カ、右> [ri]	クモノイ
6513.24	kuumo no egi, <itoto は言わない。> [蛇や蚕の脱いだ皮を、それぞれエキと ^キ いうか、蟬のカラは、エキと ^キ い ^キ わない。]	
6518.30	クモノイ。 <又は糸のこと。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くものいと		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(19)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6518.87	クモリス。(糸のこを、スとも言う。 例として、〈クモリスオヒク〉のように言う。	
6519.67	? グモリス, #グモノイト, 〈グモリスとも、グモイトとも言う。〉(グモカ"スオハエル、という言い方もあるので両方とも、使用するという被調査者のことばは、肯定できる。)	
6521.17	クモリス , クモノイト°, クモノイト°, 「キ°」は、鼻濁音 [ɲi] を表わす, この地は、鼻濁音あり。	
6526.04	#.クモシル, 〈クモシルヲタイテスツクル (くもの糸を出して巣を作る。)のように言う。	クモノイト.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	③ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 くものいと			(20)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6526.45	クモイ, <クモイカサガッタ>のように言う。 (葉と糸との区別なし。)	
6527.44	kumo no ito. <これは、手に他の糸と区別する ために使う。>	ito.
6528.06	gumo no ito [古]	kumo no ito
6528.64	1, ito, 2, kumo no ito, 3, gumonoito <普通はただ ito といふが、手に区別を要する場 合は、2, 3, を使う。3は [古].>	
6529.15	[クモイ]	クモイ
6538.46	[gumonoito 古]	kumonoito

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くものいど		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(2/1)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6539.12	ito, kumo no ito, (普通は, ito o dasui a yō ni iu ga, 手に, 他の糸と区別する時は kumono ito と言う。)	
6541.66	井? クモノイ	
6549.03	kumo no ito 〈新〉〈kumo は比較的新しい 言い方である。〉 gumono ito	
6550.96	クモノイ(?)	
6555.31	kumo no sui, (004 と区別がよい。この 点につき念を押した。)	
6559.22	ito , kumo no ito. 〈これは, 他の糸と手に 区別をする時に使う。〉 ito.	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
項目名 クモノイト			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6561.49	イト。〈ただイトとのみ言う。〉	
6562.48	クモノイト〈稀〉。(日常. 特別にその糸のけき 話題にすることは稀だという意味。)	
6563.43	米 kumo no ito. (はじめは「ヌー」と言ったが 質問を不答認して訂正した。)	
6563.84	kumo no su. 〈糸が一本かかっている。それか ひかかっても、クモノイトと言う。〉	
6564.33	kumo no ito. (「クモノイト」は「クモノイトー」と 異って、一語ではない。)	
6565.22	ヘバリ, ヘンバリ, 〈両者ともにも用いる。〉	

日本語語地図資料用紙 注記一覧

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (23)
項目名 くもすい。			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6582.12	クモイト〈共〉	クモイト
6583.19	kumosu. (「クモス」で「クモス」で「クモス」 と004の区別はなし。)	
6586.32	kumonosu. 〈親にあっていなくても、kumo nosuという。〉	
6593.98	gumo nosu. (003と004との区別はなし。)	
6595.32	NR. (考証はなしで、何も答えない。)	
6609.05	(古)クモイト	クモイト
6610.00	クモイト〈幼〉〈古〉	クモイト
6621.94	N.R. (無理に言はば、kumonosu.)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	<input checked="" type="radio"/> 普通注記 <input type="radio"/> 〔B 除いた共通語〕 <input type="radio"/> 〔C 除いた特殊語〕	ページ (24)
項目名 くもゐと。			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6625.66	NR. 〈使われず。無理に言えは。kumono ito〉	
6626.71	ito, 〈[kumono ito o si:tatoju:]の ように言う。〉	
6630.43	gumono sü 〈gumo かお尻から出た糸は。ito とは言わずに gumono sü という。〉(004の2と ではなう。)	
6631.60	kumonosu, 004と区別がなう。	
6634.32	kumono ito, 特別な言い方はなう。無理 に言えは。上の言い方をする。	
6636.62	kumono ito 〈稀〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	① 普通注記	ページ
項目名 くものい。		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(25)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6639.43	ibari〈右〉	kuumo no ito
6639.79	kuumo no sui. 〈一本一本でい sui という。これは、sui o dasui と 言はなす 。ヨリから出すところを、言ふことでは明らか。〉	
6641.82	言はなす。無理に言はなす; kúumo nosú.	
6645.37	kuumo no ito 〈稀〉	
6645.62	N.R. 〈特にいには言はなす、強いて言はなす。kuumo no ito.〉	
6651.32	N.R. 〈無理に言はなす。kuumo no sui.〉	
6652.30	kuumo no ito, kuumo no sui, 両者. 同様に言う。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くもいと		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特別語〕	(26)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6656.31	kumonoito 〈稀〉 〈こいう言いはあまりない〉	
6661.02	kumonoito 〈稀〉	
6700.25	kumohazure 〈古〉	kumonoito
6700.48	kumonoito (itoのiは〔E〕とも聞える)	
ク238.90	* コブノイト	クモノイト
ク239.85	N.R. (この地方に古く、ケツという語があった というが、被調査者は、ケツという語は知 らないと言う。)	
ク275.84	コブナエ (これは ま むしろ蜘蛛の巣を形 成する網全体に言うイマで糸は、マ、コブナ	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (27)
項目名 くものいと			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	か当っている。) *エブノマ	
7302.87	emba (糸たけの特別の名称はな。糸は注意によらず、単たけに名称をまじえている。)	
7303.29	gumo no ito, 〈挿にまじ。(エバリなし)〉	
7307.18	クモノイ (イトとは言わな。)	
7313.34	hemba, [博多地方のembariと同系]	
7320.59	? e bari, クモノイもスモも区別しな。エバリという, と答う。	
7322.81	kumono eba 〈糸と単を区別しな。言う。〉	
7323.17	neba, (糸の=と)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 603	地図番号 285	<input checked="" type="checkbox"/> 普通注記 <input type="checkbox"/> (B 除いた共通語) <input type="checkbox"/> (C 除いた特殊語)	ページ (28)
項目名 くものいと			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7342.12	ebari. (糸と単とを区別して言っていない。単が主で、糸を向是題にすることはな-ものと見える。)	
7350.96	ミヤア m ^ε ja: , (0041に同じ)	
7352.97	?ス, *?クモノイト,	
7355.81	nemari <稀>	ebari.
7356.70	eba <古>	ito.
7357.31	nebari <古>	
7361.17	キ/. <例文は12, キンオダ"スのF310"言え。>	
7362.67	*コフノス.	ス.
7363.85	*コフノヤネ.	ヤネ.

日本語地図資料用紙 注記一覧

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (29)
項目名 くものゑ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7365.67	* jebari	jeba.
7374.75	コブノエ。〈コブノエがへち、かかるけんどもをらんじというから、糸のことも、コブノエである。〉	
7376.68	(kumon) eba, 〈単に eba とも言う、kumon eba ともいう。〉	
7381.47	ヤネ, コブノヤネ。〈003, 004 とも同じ言い方をす。〉	
7382.58	キノ (文例, キノデダ。), キンイト 〈稀〉	
7386.55	kobu no neba 〈neba は、eba とも言う。eba は、餌場をいう。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	① 普通注記	ページ
項目名 くものいと		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(30)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7390.26	米コフノヤネ	ヤネ
7401.18	kumo no he: (?). (被調査者主張にもか かわらず、菓の二とであるかどうが疑わしい。)	
7402.42	kumo no jobare. (jobareは寝小便のこと で、一般ではどういふかを調いたところ、 kumo no ebari (老), kumo no sui (若人、小中学生も) となった。kumo no jobareというは、と云、個人 的方言の方のようだ。ebariとjobare類音字が おこったのかむしれぬ。)	
7403.21	kumo no ito, 〈zoro: yumo a字を、kinu: ito と云、いた。〉	

と云、いた。〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (31)
項目名 くものい			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7420.18.	neba neba <子>	ebari
7427.90.	k kumono i: , iは普通のはりややない。	
7436.68.	Kumono e: <普通>	
7446.26.	Kumono he: , 尻の意であらう。	
7500.66	クモイト (クモイトとも言う)	
7501.14.	クモイト <古>	クモイト
7501.68.	クモイト <多> . クモイト <古>	
7521.79.	クモイト <古> .	クモイト
7522.48.	クモイト <老人が主に使う。>	クモイト
7533.11	クモイト <古>	クモイト

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (32)
項目名 くものいと。			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8248.18.	<p>* jegane, (kkr7.上村氏が35年夏、同じ地 点を調査した時は Kobunje を得ているので あなから、訂正する必要もないのではあかと思わ れる。kkr7. 昨年の被調査者は、平民部落出身)</p>	kobunoje
8302.55.	* コフノヤネ.	ヤネ.
8303.47	<p>ヤネ・コブノヤネ 〈例文として、コフノヤネがス (くもが年を出す) のように言う。 (イカ)〉, 〈例文として、コフカ イカ 張ッタノよ うに言う。〉, (イカは手と手周、巣をひくくめて 言うのイと被調査者は説明する。年ノヒカ、年</p>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (33.)
項目名 くわんと.			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	ことか 明らかで は ないで、これは、採用すべきでない と思う。)	
8325.77	[kobune], (被調査者も認める。)	
8351.65.	kon no ne, (ne は je を 転写する。)	
930 ³ 88.	igare, kobu no igare, - jankai no igare, (オ三者も確認)。〈 igare で十分だが、特に、 蜘蛛巣を、種類別にする、kobu no -, jankai no- という語をつくる。〉	
9313.55.	kobu no su, jankai no su, 〈 転写が いから、通りの言い方をする。〉 〈 su ^{su} でなくて、「糸」	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235.	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (34)
項目名 〈ものゝと〉			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	を表すコバを、使っているか、得られなかった)	
0275.97	aman nusii, 〈女郎くもの巢 ^う というニとである 地くもの巢は, kábu nu sii と、言てもよいか、実 際上は、巢をい、ているのを見ないので、使わぬ、と言え。〉 (巢も糸も、区別しないで、呼ぶわけである。)	
0294.93	šibugasi nu šii, 「くもの ^マ 巢の巢」という義ら しい。 — šii: は、最初、中台的 — šii: に、き=之 か、質問した結果は -šii: であつた。	
1231.88	N.R. (広く調査したか、くもの糸の方言はない)	
2140.96	?kašii: pali	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	A 普通注記	ページ
項目名 くものい		<input checked="" type="checkbox"/> 除いた共通語	
		<input checked="" type="checkbox"/> 除いた特殊語	(/)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5599.41	* クモノイト 〈共〉	! クモノイ
5653.08	kumo no ito 〈共〉	kumodzu. 〈単の場合も。子 の場合も共に。〉
5686.67	クモノイト.	* クモノイゴ 〈普通〉 〈クモノ イトとは言わなう。〉
6356.98	イト 〈新〉	クモノイバ 〈単と区別せぬ〉
6417.14	kumo no ito 〈少〉	kumo no igi 〈多. 古〉
6419.25	イト 〈新. 共〉	イキ:
6424.20	kumo no ito 〈少〉	kumo no igi 〈多〉
6428.26	クボノイト 〈子〉	クボノイキ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 003	地図番号 235	A 普通注記	ページ (Z)
項目名 くも ^い と		〔B〕 除いた共通語 〔C〕 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6547.24	kumo ga ito ito, kumo ga ito odasū ^い • おうに言う。	kumo no ito
6581.5Z	クモノイト。〈共〉	クモノイト。
7372.27	クモノイト〈子共〉。〈004と別引出。〉	エ, クモノエ,
7421.38	kumo no ito 〈上〉	gumo no e.
7436.68.	kumono ito 〈上〉	kumo no e: 〈普通〉